

瀬戸学区まちづくり推進委員会

委員長 奥野 英幸

（問合せ先） 084-951-1003（瀬戸公民館）

事業内容

- （1）公民館サークル育成 （7月～3月）
- （2）公民館まつり （3月13日～20日）
- （3）自主防災活動 （11月22日・11月25日）
- （4）避難行動要支援者の避難支援 （通年）
- （5）史跡めぐり （11月7日）
- （6）情報紙発行 （通年）
- （7）町民納涼夏まつり盆踊り大会 （8月1日：中止）
- （8）町民大運動会 （10月18日：中止）
- （9）コミュニティ育成 （通年）
- （10）納税推進 （通年）
- （11）環境美化活動 （通年・9月：瀬戸学区内ごみゼロ運動）
- （12）第20回町民グラウンドゴルフ大会 （11月14日）
- （13）まちづくり推進委員会運営 （通年）



【欲ばりコミュニケーション：カメラ連続講座】



【欲ばりコミュニケーション：松ぼっくりのツリー♪】



【公民館まつり：作品展】

成果

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が開催できなかった中で、自主防災活動や避難行動要支援者の避難支援事業については、前向きな活動ができたように思う。

課題

地域住民に対してまちづくり事業についての周知に努める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が開催できず、残念であった。

課題解決にむけて

新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先する中で、あらゆる角度からできることを考え、地域住民の課題を掘り起こしていきたい。

命を守る！助け合い・支えあいのまちづくりを！

★自主防災活動『第8回防災訓練』

隔年で学区全自治会を対象に開催している防災訓練ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を大幅に縮小し、役員を中心に開催しました。



自宅からの徒歩での避難はなしとし、「大規模災害における班別活動内容の確認」を重点においた内容としました。今まで経験のない避難場所の運営について、7つの班（総務・情報・救出救護・福祉・給食給水・消火・避難誘導）を作り、それぞれの班の責任者を中心に連携団体と協力し合い、平常時と災害時の役割についてしっかりと話し合い、想定される事柄や課題も出してもらいました。

開設に伴っては、スムーズに進められる場面と、連携団体の協力のあり方や情報の共有化・個人情報の保護による情報不足、避難行動要支援者や自治会未加入者への対応など、課題も多く出てきました。

瀬戸学区自主防災協議会として、「警戒レベル3」で避難場所として「赤坂公民館」が開設された場合、「瀬戸小学校」を自主開設します。それと同時に、自治会として自主的に「高浦町内会館」と「山北集会所」も開設されます。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の防止対策においては、テントの活用が必要であり、小型のコンパートメント4張と避難行動要支援者への医療用キット（支援者やかかりつけ医などの個人情報を入れる容器）についても準備し、コロナ禍での避難所開設を想定した取組ができました。

それぞれの役員が、自身の役目を確認し、団体とも連携を図りながら対応に努めるという認識を持つことができました。また、家族や隣近所との声かけ、地域でのつながりの大切さも重要だと改めて認識できたと思います。



★《命を守る！自助・共助！パラコードブレスレット作り！》

近年、ゲリラ豪雨や思いがけない災害が頻発しており、まずは自分の身は自分で守る行動が大切になっています。いざという時のための備えについて、福山市防災リーダーより講義を受け、災害時に役立つ



パラコードブレスレットを作りました。このパラコードブレスレットは、耐久性・耐荷重性に優れたロープを使い、バックル部分に、笛・火打ち石・ナイフ・方位磁石等の機能があります。1本のロープが見た目も可愛いブレスレットに変身し、

できあがりに参加者から感嘆の声が上がりました。災害が起こらず、ブレスレットのままの日々が続くことを願いたいものです。

